

2022年度 樟蔭中学校 入学試験 問題用紙 (A入試)

2022年1月15日 実施

解答は解答用紙の所定の欄に記入すること。円周率は3.14とします。

1 次の計算をなさい。

(1)  $70 \times 5 - 20 \times 5 =$

(2)  $8.1 - 1.8 =$

(3)  $\frac{1}{3} - \frac{1}{6} - \frac{1}{12} =$

(4)  $4 \div \frac{2}{3} \times 2 =$

(5)  $\left(1.5 - \frac{3}{4}\right) \div \frac{5}{6} =$

(6)  $2.9 \times 2.4 - 5.8 \times 1.2 =$

2 次の□にあてはまる数を入れなさい。

(1)  $\left(8 - \square\right) \times 3 + 3 = 18$

(2) 時速 40 km で 100 km の道のりを進んだときにかかる時間は  
□ 時間 □ 分です。

(3)  $2.4 : 3.6 = \square : 3$

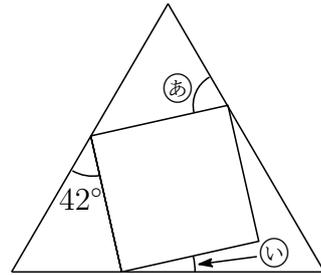
(4) 1250 円の □ 割は 250 円です。

# 【算数】

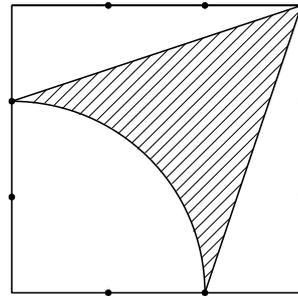
[2枚のうち その1]

3 次の問いに答えなさい。

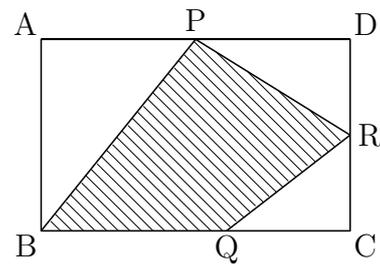
- (1) 右の図は、正方形と正三角形をかさね合わせた図です。  
角㉠と角㉡の大きさはそれぞれ何度ですか。



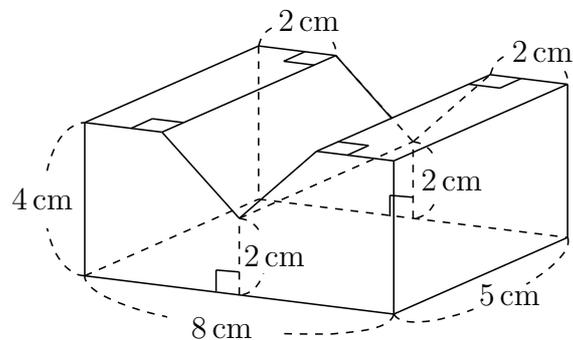
- (2) 1辺の長さが6cmの正方形で、各辺を3等分した点をとりました。直線と円の一部を組み合わせてできたしゃ線部分の面積は何  $\text{cm}^2$  ですか。



- (3) 右の図の長方形 ABCD は面積が  $60 \text{ cm}^2$  で、AP と PD の比が  $1:1$ 、BQ と QC の比が  $3:2$ 、CR と RD の比が  $1:1$  のとき、しゃ線部分の面積は何  $\text{cm}^2$  ですか。



- (4) 右の図は直方体から三角柱を切り取った立体です。この立体の体積は何  $\text{cm}^3$  ですか。

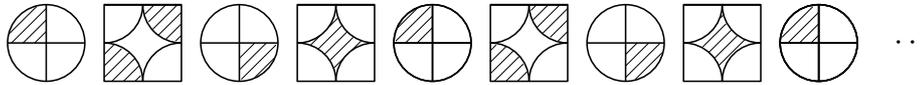


2022年度 樟蔭中学校 入学試験 問題用紙 (A入試)

2022年1月15日 実施

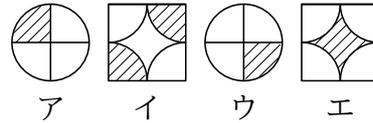
解答は解答用紙の所定の欄に記入すること。円周率は3.14とします。

- 4 下の図のように、直径が2cmで2本の直径が直角に交わっている円と、1辺の長さが2cmの正方形で、それぞれ辺のまん中の点を通る円の一部と組み合わせたものが、順番に並んでいます。次の問いに答えなさい。



1 番目 2 番目 3 番目 4 番目 5 番目 6 番目 7 番目 8 番目 9 番目 …

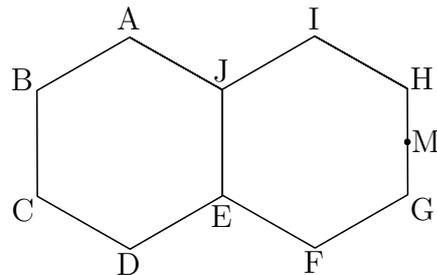
- (1) 20 番目の図形は右のア～エのうちどれですか。記号で答えなさい。



- (2) 1 番目から 4 番目までの図形のしゃ線部分の面積の合計は何  $\text{cm}^2$  ですか。

- (3) 図形のしゃ線部分の面積を 1 番目から順に合計していったとき、その合計が初めて  $163 \text{cm}^2$  をこえるのは何番目の図形ですか。

- 5 同じ大きさの正六角形が2つ並んでいます。1つの正六角形の面積は  $24 \text{cm}^2$  です。また、点Mは辺GHのまん中の点です。このとき、次の点を結んでできる図形の面積は何  $\text{cm}^2$  ですか。



- (1) 長方形 BCGH  
 (2) 三角形 BMC  
 (3) 三角形 BEM

- 6 右の図のような形をしたカレンダーがあります。このとき、次の問いに答えなさい。ただし、日付の数はA行から入れていくものとします。

	日	月	火	水	木	金	土
A 行→							
B 行→							
C 行→							
D 行→							
E 行→							
F 行→							

- (1) ある月のA行の数の合計は21になります。この月のA行の土曜日は何日ですか。
- (2) ある月の木曜日の数の合計は80になりました。この月のC行の木曜日は何日ですか。
- (3) ある月の月曜日の数の合計は、この月の土曜日の数の合計よりも10大きくなりました。この月のC行の日曜日は何日ですか。考えられるものをすべて答えなさい。

## 【算数】

[2枚のうち その2]

7 S先生, Aさん, Bさん, Cさんの会話を読んで, 次の問いに答えなさい。

S先生「1から199までの整数をたすとき, みなさんはどのように工夫して計算しますか。」

Aさん「私の計算方法は,  $(1+199) \times \boxed{\text{ア}} \div \boxed{\text{イ}}$  で答えが出ました。」

Bさん「私の計算方法は,  $(1+199) \times \boxed{\text{ウ}} + \boxed{\text{エ}}$  で答えが出ました。」

Cさん「ふたりとも計算が早いね。」

Bさん「Aさんの計算方法と似ているけど,  $\boxed{\text{ア}}$  と  $\boxed{\text{ウ}}$ ,  $\boxed{\text{イ}}$  と  $\boxed{\text{エ}}$ ,  
そして  $\div$  と  $+$  もちがうなあ。」

Aさん「私は1から199までを2組用意してそれを全部たすという考えでした。」

Aさん「 $1+199=200$  は  $\boxed{\text{ア}}$  個できるので,  $(1+199) \times \boxed{\text{ア}}$  を計算して,  
答えは1組分だけなので, 最後に  $\boxed{\text{イ}}$  でわるという方法です。」

Bさん「そうか! 私は1組しか用意しなかった。」

Bさん「 $1+199=200$  が  $\boxed{\text{ウ}}$  個できるけど, あまった  $\boxed{\text{エ}}$  を最後にたしました。」

Cさん「ふたりとも最初と最後をたした200がいくつあるかを調べたのですね。」

Cさん「ふたりともすごいね。」

Bさん「いやいや, Aさんにはかなわないよ。」

Aさん「私は面倒くさがりなので, ついつい楽に計算しようとしてしまうのです。」

S先生「今日もいい授業でした。」

(1)  $\boxed{\text{ア}}$ ,  $\boxed{\text{イ}}$ ,  $\boxed{\text{ウ}}$ ,  $\boxed{\text{エ}}$  にあてはまる数を答えなさい。

(2) 1から199までの整数をたすといくらになりますか。

8 太郎さんは, 下の計算問題を解くときにまちがえてしまいました。太郎さんはどのようなまちがいをしたのか, 文章で答えなさい。

太郎さんの解答  $6 \div \frac{1}{2} \times 4 = 3$